

の「改革」、

信じられる日本へ。
新党 **日本**
love-nippon.com

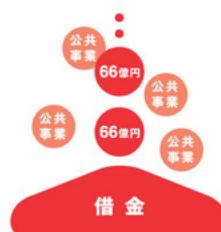


近所に出来た公共施設、ガラガラなんだけど、維持費でパンクしないのかしら？

[脱・既得権益]

1時間に66億円もの速度で増え続ける世界最悪の財政赤字。全国で相次ぐ公共事業の不祥事。なのに、ハコモノ行政が改まらない理由は、起債(借金)可能な事業が建物・道路・公園の3兄弟に限定されているからです。

林野庁の予算に占める森林整備費は僅か8%。道路特定財源の中から電線地中化に当てられる金額も僅か3%。望ましい公共事業の在り方へと抜本的に転換すべきです。「脱ダム」の精神は、21世紀の「『脱ムダ』宣言」なのです。

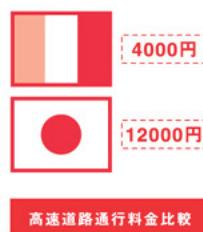


将来の夢は公務員と答える小学生が一番多いなんて、未来のニッポン大丈夫？

[脱・官僚主導]

共に民営化されたイタリアと日本の高速道路1km当たり建設費用は、ほぼ同額です。ところが、ローマーミラノ580kmは通行料金4000円弱。同距離の東京-神戸は3倍以上の金額。しかも、民営化後は役員賞与すら、情報公開の対象外で、利用者不在の闇の中。

一連の民営化に霞ヶ関官僚が反発しなかったのも、天下り先が増える“焼け太り”だと見抜いていたからです。今こそ納税者の視点に立った「脱・既得権益」の改革が急務です。



真っ当に働き、学び、暮らす人々の願いを 実現してこそ、政治家でしょ？

[脱・格差増大]

所得税への最高課税率は、70%だった90年代から半減して今や37%と半減。あの「格差社会」のアメリカでも35%です。勤勉な中産階級が社会を支える、戦後日本が誇った美德は最早、幻想となっています。

田中康夫の新党日本は、「怯まず・屈せず・逃げず」を行動指針に掲げます。現場主義と直接対話に基づく地域発の変革で、生まれ育って良かったね、と次世代に語れる、安心で安全な「信じられる日本」の再生を図ります。

